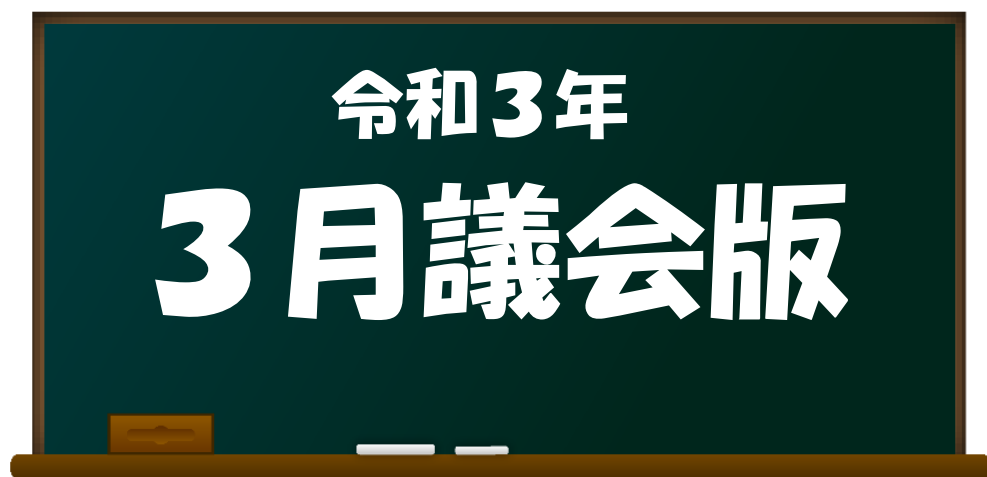


内藤幸男と座間の未来を考える会

市政ドリル 第33号



責任感

郷土愛

情熱



座間市の市政と一緒に考えましょう！

問1

座間市は本年11月1日をもって市制施行〇周年を迎えるため、年度を通して様々な記念事業が計画されています。さて、何周年を迎えるでしょうか？

①30周年

②40周年

③50周年

④60周年

問2

令和3年度はいよいよコミュニティ・スクールが導入されます。令和4年度の小・中全校導入に先駆けて始まるのは、東原小学校とどこでしょうか？

①西中学校

②東中学校

③南中学校

令和3年度
当初予算案

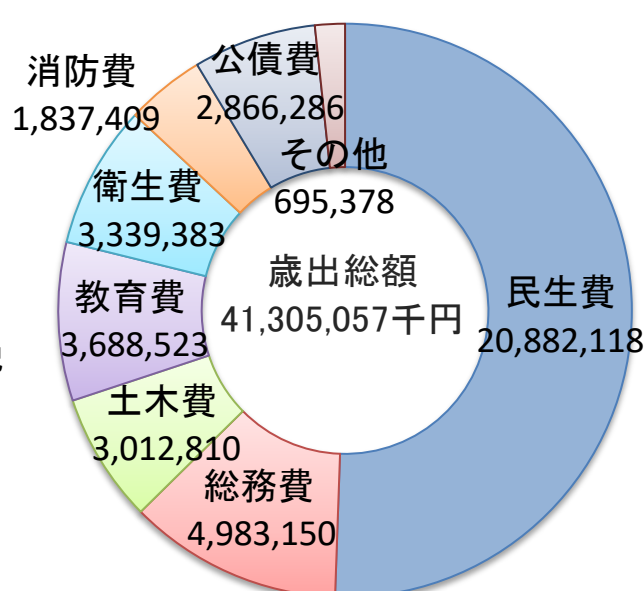
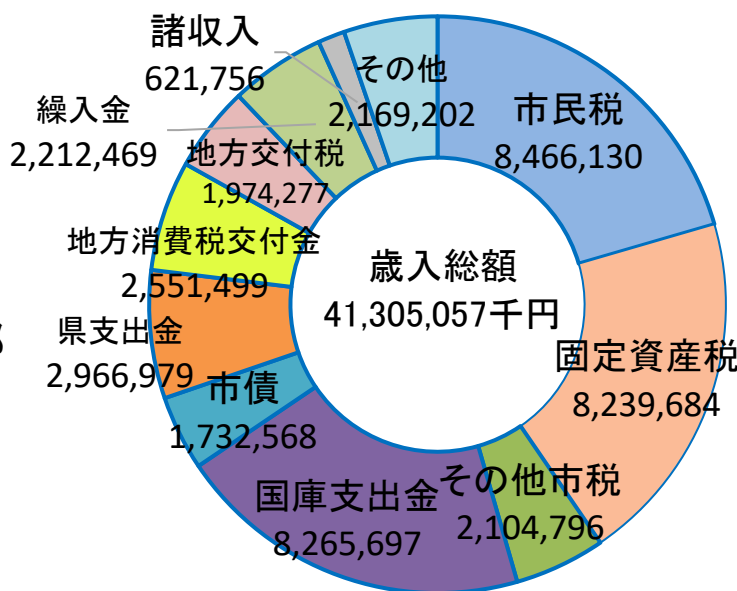
新市長の独自政策は見られず 財政調整基金の取り崩しは過去最大の15億余

新市長に代わり初めてとなる予算議会。多くの市民の皆様が市長の公約がどこまで反映されるのか、その「変化」に注目をされていたと思います。しかし蓋を開けてみれば、今回の新年度予算は遠藤市政時代のものが「継続」されるものばかりであり、新市長の独自政策は見ることはできませんでした。

また、財政調整基金の取り崩しは過去最大の15億5000万円余と、予算ヒアリングや査定の甘さを露呈。この状況で大規模災害が起きたらと考えると不安が残るものではありますが、12月には総務部長や企画財政部長を歴任した財政のスペシャリストである三浦康氏が副市長に就任したこともあり、これからの取り組みに期待を寄せるところです。（令和3年度の拡充事業等は2面）

予算案の概要

一般会計 413億505万円 前年比－0.7%	+	特別会計 235億5588万円 前年比－1.7%	+	公営企業会計 74億6065万円 前年比－1.4%	=	総計 723億2160万円 前年比－1.1%
-------------------------------	---	--------------------------------	---	---------------------------------	---	------------------------------



確かな一歩の積み重ねで座間市の未来へつなぐ。

答え 問1 ③、問2 ③

内藤幸男と座間の未来を考える会

☎090-6107-3467

✉zama@naito-yukio.com

〒252-0028 座間市入谷東3-8-23



内藤幸男

検索

討議資料

自民党

コロナウイルスワクチン予防接種に伴う補正予算 専決処分での対応を指摘



内藤幸男 議員

今定例会では、新型コロナウイルスのワクチン予防接種に係わる補正予算が2本計上されましたが、どちらの議案も専決処分（議会の議決・決定を行わずに首長が独自の判断で意思決定を行う対応）での対応となりました。

この対応に、私は、自民党・いさまを代表して質疑をさせて頂き、会場や体制、広報、受付、スケジュール、副反応への対応、個別接種や出張接種など明確になっていなかった部分に対しての質疑と合わせて、ワクチン接種で不安を抱えている市民が多い中、専決処分を下した市長の政治姿勢は市民に寄り添ったものではなく、いかがなものなのかと指摘をさせて頂きました。

令和3年度、主な新規・拡充事業

・市制施行50周年記念市民提案事業費 【300万円】

まちづくりへの市民参加の推進を目的として、市民活動団体等が市政発展の契機となる事業を企画・実施するための予算措置です。すでに、昨年9月15日から10月15日まで事業者の募集が行われ、12件の中から3件を選考。採用された事業は以下の通りです。

座間市制施行50周年記念に贈る特別コンサート
新作「未来に輝け座間の原風景を歌う」

座間市小学校給食市制施行50周年祝賀給食提供事業
人でつづる座間の50年史 ゆめの学校フェス

・コミュニティ・スクール推進事業費【49万円】

令和4年度の市内全小・中学校への学校運営協議会設置に向けた予算措置です。今年度は先行実施校として東原小学校と南中学校において同取り組みがスタートします。

・児童発達支援センター整備事業費 【1,209万円】

児童発達支援センターの設置に向け、移転予定地である現在の生きがいセンターを増改築するために、今年度設計を実施するための予算措置です。

・生きがいセンター移転整備事業費 【490万円】

公共施設再整備に基づき、生きがいセンターの機能をリサイクルプラザへと移転するための予算措置です。

・生活困窮者自立支援事業費 【1億3,223万円】

新たにひきこもりの人などが自宅以外で安心して過ごせる居場所をつくるために、相談窓口の設置や当事者や家族向けのセミナー等を開催し、支援の充実を図るための予算措置です。

・市民体育館ESCO事業費 【3,860万円】

令和3年度から10年間に渡り、ESCOサービス料を支払うための予算措置です。

*ESCO事業・・・民間のノウハウや技術を活用し、光熱水費等の効果的な経費削減を行い、削減実績からその一部を対価として得る事業

・都市マスタープラン改定事業費 【1,305万円】

次期総合計画の策定に併せ、座間市都市マスタープランの改定作業を行うための予算措置です。令和3年度の予定では、上位計画や関連計画の整理、都市の現況把握や市民意向の把握など基礎的調査の実施。合わせて現計画の検証や庁内調整が行われます。市民や団体等との懇談会も順次行われる計画で、全体構想の作成を目標に進められる予定です。

・保育所大規模修繕事業費 【432万円】

東原保育園の耐震化を図るための予算措置です。

・放課後児童健全育成事業補助事業費 【5,305万円】

児童ホームの待機児童対策として、新たに一事業者分を増やし、運営費等の補助をするための予算措置です。

・環境基本計画策定事業費 【372万円】

令和3年度から2か年をかけて、次期環境基本計画を策定するための予算措置です。

・小学校情報教育環境整備事業費 【1億8,830万円】

令和2年度に整備した学習用端末等を用いた授業に取り組み、情報通信技術を活用した教育をさらに推進するための予算措置です。

配布された学習用端末は「Chrom Book」でGoogle社の教育プログラム「Google for Education」が使われます。



・コミュニティセンター大規模修繕事業費 【207万円】

相模が丘コミュニティセンターの経年劣化に伴う大規模改修工事の設計委託を行うための予算措置です。

・シティプロモーション管理経費【447万円】

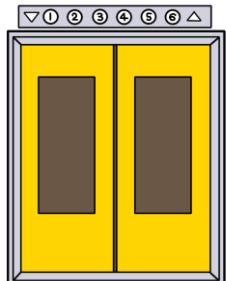
市制施行50周年に伴う記念誌の発行と、本市の魅力を内外に発信するためのプロモーション動画を作成するための予算措置です。

小中学校へのエレベーター設置一步前進



① 3月1日の一般質問では、「バリアフリー法改正による学校の取組」について質問をさせて頂き、小中学校へのエレベーター設置について前向きな答弁を頂きましたのでそのやり取りを紹介させていただきます。

② 今回の質問を行う上で背景となったのが、2020年5月のバリアフリー法（＊1）の改正です。
この改正によって、バリアフリー基準適合義務となる対象施設に公立小中学校が追加されました（2021年4月1日施行）。
この規定によって、2021年4月以降に新築等される小中学校は、多機能トイレ・スロープ・エレベーターなど障がい者に配慮した整備が義務化され、既存の校舎においても数値目標の明示と整備の努力義務が課されました。



（＊1）正式名称は、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

③ このような状況を受け文科省は学校施設におけるバリアフリー状況の調査を実施。調査の結果と本市の比較表は以下の通りになります。

公立小中学校のバリアフリー化の状況（校舎）				
総学校数	車椅子使用者用トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター
		門から建物前	昇降口・玄関から教室等	
28,156校 （100％）	18,359校 （65.2％）	22,111校 （78.5％）	16,122校 （57.3％）	7,634校 （27.1％）
座間市小中学校のバリアフリー化の状況（校舎）				
17校 （100％）	17校 （100％）	17校 （100％）	16校 （90.9％）	0校 （0％）

④

教育長はバリアフリー法の改正および、バリアフリ基準の適合義務についてどのように捉えていますか？

本市の小中学校のバリアフリー化は、従前からスロープや手すりを設置したり、身体障がい者用トイレや多目的トイレの設置を進めてきました。エレベーターは現在無く、肢体不自由級の児童・生徒の移動には階段昇降機を配置してきましたが、運用には緊張感が伴うことや自由に移動することが叶わないことから課題と認識しています。法の趣旨に沿った対応の検討を進める必要があると考えています。

教育長

⑤ 文科省の調査ではバリアフリー化に関する整備計画の策定状況についても明示。策定状況は14. 9％と低く、今後3年間の整備計画も微増にとどまっています。

公立小中学校のバリアフリー化の整備計画（校舎）				
	車椅子使用者用トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター
		門から建物前	昇降口・玄関から教室等	
整備済み	18,359校 （65.2％）	22,111校 （78.5％）	16,122校 （57.3％）	7,634校 （27.1％）
令和2年度	18,677校 （66.3％）	22,175 （78・8％）	16,227 （57.6％）	7,803 （27.7％）
令和3年度	18,938 （67.3％）	22,240 （79％）	16,317 （58％）	7,973 （28.3％）
令和4年度以降	20,075 （71.3％）	22,545 （80.1％）	17,108 （60.8％）	8,879 （31.5％）

⑥

本市のバリアフリー化に関する整備計画の策定についての考えや今後の予定をお示しください？

本市学校施設において、今後計画的に整備する必要のある設備はエレベーターであると認識しています。国の整備目標では令和7年度末までに要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校への整備が求められています。現状本市では3校が該当しますが、校舎の構造上の設置可否等、様々な条件を検討した後、実施計画にて整備を計画し、全市の中で調整したいと考えています。

教育部長

⑦

昨年、私が民生教育常任委員会の委員長を務めている際に、「教育全体の中でエレベーター設置を検討していきたい」と、前向きな発言が出されていたが、これは前進していると捉えてよいのか伺います。

これまでは公共施設再整備計画を踏まえ、校舎の建て替え等に合わせて検討していくという考えでしたが、インクルーシブ教育のあり方等を踏まえ、校舎の建て替えを待たずに検討したいという一歩進んだ考えと捉えて頂き結構です。

教育長

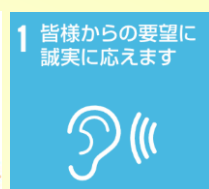
⑧

エレベーター設置について、教育委員会がやりたくても市長がそこに予算をつけれなければ実施ができません。市長として設置するんだという姿勢を示すためにも実施計画にのせ、職員に交付金を取ってきてくれ、予算をつけるから頑張ってくれと、そういった指示が出せるのかどうか伺います？

エレベータについては、財政計画を立てたいと考えています。また実施計画にのせていくかは現状で明言はできませんが、整備をしていくという方向で考えておりますので、よろしくお願いいたします。

市長

皆様からご相談頂いたご要望にも しっかりと働きかけていきます！



道路のセンターラインの引き直し

東建座間ハイツの中心を走る市道入谷216号線。スーパーTAIGA前付近から谷戸山公園に向かう約300メートルに渡って、車道のセンターラインが消えており、座間ハイツの住民の皆様を中心に地域の方々から危険だという要望を頂いておりました。直ぐに予算化していただき、白線を引き直していただきました。



通学路の安全対策

市道入谷240号線。通学路でもあるこの道は白線が消えており、児童の保護者から線を引き直してほしいという要望を頂いておりました。白線の引き直しに合わせて、カラー舗装もしていただき、安全対策を施していただくことができました。



こんな時だからこそ、積極的に動いていきます！



2 教育・医療・福祉分野でのICT (情報通信技術)の活用を推進します



自治体・公共weekに参加。ペーパーレス会議や流域治水に向けた対策技術、空き家解消管理システムなどデジタルトランスフォーメーションを推進するための情報を仕入れてきました。



13 座間駅前の活性化に力を入れます



座間駅前を活性化させるためのプロジェクトが始まりました。(仮称)みんなの広場は、NHK趣味の園芸にも出演されている植栽デザイナーの平工詠子さんにも関わっていただいています。

3 災害に強いまちづくりを推進します



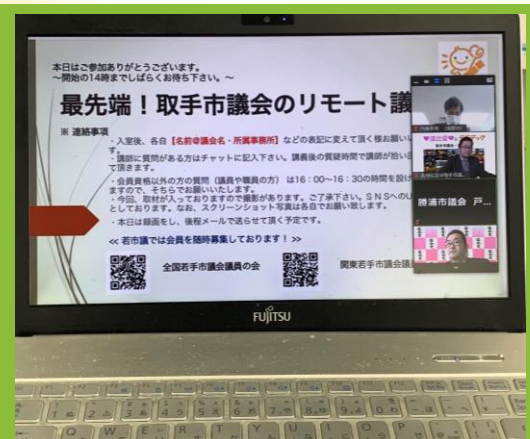
東日本大震災から10年。自民党座間議員団で追悼遊説活動を実施しました。被災者を偲び、災害に対しての備えの必要性を改めて訴えさせていただきました。



2 教育・医療・福祉分野でのICT (情報通信技術)の活用を推進します



関東若手市議会議員の会のZOOM研修に参加。感染症や災害時においても議会を止めないために、タブレット端末やオンライン議会を先進的に導入している取手市議会の取り組みを学びました。



1 皆様からの要望に誠実に応えます



7 ババ・ママが安心できる子育て環境を整備します



11 ふれあいと活力ある健康長寿社会づくりを推進します



2 教育・医療・福祉分野でのICT (情報通信技術)の活用を推進します



8 多様化社会に合った地域コミュニティの再生を目指します



12 歴史・文化を活用したシティプロモーションを提案します



3 災害に強いまちづくりを推進します



4 地域の新たな魅力を創出します



13 座間駅前の活性化に力を入れます



5 通学路の安全対策を進めます



9 協働のまちづくりを推進します



14 障がい者が自立できる支援策を推進します



15 国内友好交流都市との連携強化を目指します



6 地域特性を活かした英語教育を推進します



10 空き家のデータ収集と有効活用を進めます



16 目標実現のためあらゆる発言機会を活かします



皆さまの **身近な議員** として、**地域の要望に誠実に応え、地域に恩返し**をしていきます！



プロフィール

生まれ：昭和58年1月22日

出身校：産業能率大学経営学部卒（地域環境論：まちづくりゼミ）

職歴：前々職〉IT系ベンチャー企業コンサルティング営業管理職 / 前職〉(株)タウンニュース社記者

その他：座間市消防団団員（第1分団第1部）（一社）座間青年会議所（2021年度副理事長）

全国若手市議会議員の会神奈川ブロック代表 財政研究会地方議員連盟発起人

＜今期の議員役職＞

都市環境常任委員会委員長

ICT推進検討委員会委員長

高座清掃施設組合議会議員

後援会へのご加入も随時募集しております。ご要望なども気軽にご相談ください。
お電話090・6107・3467もしくはメールzama@naito-yukio.comにてご連絡ください。